

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区民生委員児童委員協議会 災害時要援護者支援対策事業	【 1】
申請団体	大野中地区民生委員児童委員協議会	
事業目的等	<p>目的 災害時要援護者に対する支援活動として、“災害に対する平時からの備え”を促し、発災時の被害を抑えることを目的とする</p> <p>内容 本年度 80 歳以上でひとり暮らし高齢者となった方、および新たな事業対象として 80 歳以上の高齢者のみ世帯に対して、緊急連絡先や個人の情報などを書き留めておく安心情報カードと災害時に必要となる物品を詰め合わせた「非常時携帯物品袋」を配布する。配布後は、定期的な物品の確認と安否確認を目的として要援護者宅を訪問する。</p>	
交付決定日	平成 28 年 4 月 8 日	
交付決定金額	¥317,000 円 (全体事業費 ¥317,291 円)	
団体実績報告	<p>事業実績 「災害時要援護者」となる、ひとり暮らし高齢者と 80 歳以上の高齢者世帯に対して、緊急連絡先や個人の情報などを記録する安心情報カードと災害時に必要となる物品を詰め合わせた「非常時携帯物品袋」を配付した。 災害時を想定した要援護者の安否確認、見守り活動の実施に向けて、「災害時要援護者」となる方から「関係団体への要援護者情報開示の同意書」の作成、同意取得の計画については今後の検討課題とする。</p> <p>自己評価 「災害時要援護者」となる、ひとり暮らし高齢者と 80 歳以上の高齢者世帯に対して「非常時携帯物品袋」を訪問配付したことにより、ひとり暮らし高齢者と民生委員との間で一層良好な関係を深めることができた。このことは、今後の活動とする「関係団体への要援護者情報開示の同意書」取得に向けて、良い環境となっていると判断する。</p>	
市評価	<p>事業活動を通じて生まれた対象世帯と民生委員とのつながりは、「関係団体への要援護者情報開示の同意書」取得に向けて大いに役立つと考えられる。 今後は災害時を想定した要援護者の安否確認、見守り活動の実施に向けた計画の検討を進めて欲しい。</p>	
備考		

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区自治会連合会ホームページ運営事業	【 2】
申請団体	大野中地区自治会連合会	
事業目的等	<p>目的</p> <p>若い世代への訴求効果が高いインターネットを利用して、自治会の活動を情報発信するとともに、活動の透明性を確保して信頼の獲得と加入の促進を図る。また、役員活動の負荷軽減と利便性を向上し、次世代の活動参加と役職への取り込みを促進する。</p> <p>内容</p> <p>クラウドサービスを利用してホームページを開設し、自治会員はもとより、地区内外の住民に対して、大野中地区のイベントやトピックスなどの情報発信を行う。</p> <p>また、自治会連合会のグループウェアとして利活用を進め、自治会長会議等のスケジュール共有と通知、会議資料や結果報告のダウンロード提供、提出物管理、自治会加入希望者からの申込受付などを行う。</p> <p>あわせて、各自治会長の積極的な利活用に資するため、タブレットを個別に貸与しホームページ利用環境を整備する。</p>	
交付決定日	平成 28 年 4 月 8 日	
交付決定金額	¥476,000 円 (全体事業費 ¥476,808 円)	
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大野中地区自治会連合会のホームページを活用し、地区のイベントや単位自治会の活動等の情報を随時発信した。</li> <li>自治会長会議等のスケジュール共有と通知、会議資料や結果報告のダウンロード提供、提出物管理、アンケートの回答等を行った。</li> <li>単位自治会間及び単位自治会と事務局間の各種連絡を、単位自治会に 1 台ずつ貸与したタブレットを通じて行った。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的としていた活動の透明性や役員の負担軽減、利便性の向上は達せられた。</li> <li>単位自治会からの投稿は徐々に増えつつあるが、今後も積極的な投稿を呼びかけ、地区内外への情報発信を進めていき、自治会加入率の向上を目指したい。</li> </ul>	
市評価	<p>ホームページの開設目的である活動の透明性確保、自治会長の負担軽減、利便の向上の面では、昨年引き続いて、一定の成果を挙げている。</p> <p>今後は、単位自治会によるコンテンツの更新などを更に促進して、内外の住民に向けた自治会活動の情報発信を進めてもらいたい。</p>	
備考		

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	地域の触れ合いと認知症ケア事業	【 3】
申請団体	ふれあいオレンジカフェ鶴野森	
事業目的等	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域住民が楽しく会話やゲーム等で住民交流を図り、鬱・閉じこもり予防につなげる。</li> <li>• 地域住民が自分の認知症予防運動と認知症の症状を理解し、声かけなどの対応を学ぶ。</li> <li>• 認知症患者とその家族をケアすることで、相互扶助の精神を養う。</li> </ul> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎月 2 回グリーンハイツ集会所で開催して、談話・ゲームと認知症発症の進行を遅らせる。</li> <li>• 毎月 1 回以上講師を招いて認知症予防運動・講習会を開催し、認知症予防・ケアの知識を高める。</li> <li>• 年間数回講師を招いてイベントを開催し、地域住民へ認知症予防活動と交流の輪を広げる。</li> </ul>	
交付決定日	平成 28 年 4 月 8 日	
交付決定金額	¥100,000 円 (全体事業費 ¥164,000 円)	
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>年間 24 回開催し、延べ 420 名の地域住民が参加した。</p> <p>自己評価</p> <p>地域住民同士が楽しく交流し、認知症予防に役立つことができた。</p>	
市評価	<p>外出の機会が減り、引きこもりがちになる高齢者を対象として、気軽に会話やゲーム等で交流を図る本事業は、昨年度からの継続した活動によって、地域のつながりや絆を深めることに貢献している。</p> <p>今後も、より広いエリアからの参加者や、高齢者だけでなく様々な世代の参加者が増えるよう、呼びかけや活動内容の充実を図りたい。</p>	
備考		

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	ハンドメイドイベント 古淵てづくり日和	【 4】
申請団体	古淵てづくり日和 KTB 運営委員会	
事業目的等	<p>目的</p> <p>物づくりをする人々の発表と地域との交流の機会を提供することで、活動の活性化と地域での認知度を高める。</p> <p>物づくりをする人々の意欲向上を図り、地域の特産物を創出する。</p> <p>イベントとして実施することで、集客などにより地域の賑わいを生み出す。</p> <p>内容</p> <p>日時：H28 年 9 月 24 日（土）10:30～16:00 （雨天の場合 H28 年 9 月 25 日（日）同時刻に延期。25 日は雨天決行。） 会場：総合展示場 相模原・古淵ハウジングステージ</p> <p>プロアマ問わず古淵や近隣地区で活動している方やお店などから、ハンドメイド作品・アート作品の出品</p> <p>子供からお年寄りまで楽しめる物づくり体験ワークショップを展開し、物づくりの楽しさを伝える。</p>	
交付決定日	平成 28 年 7 月 1 日	
交付決定金額	¥300,000 円（全体事業費 ¥450,000 円）	
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>当日は、プロ・アマ問わず、また地元古淵で活動している方も含めて 80 件の作家達が参加して出店し、350 人程度の集客があった。</p> <p>出店のほかにもワークショップを展開し、子供からお年寄りまで楽しめて、沢山の人が交流できる場を提供した。</p> <p>自己評価</p> <p>当日は、午後からの降雨のため目標としていた 500 人の集客には届かなかったが、天候に恵まれていれば、目標を超える集客が見込めた。</p> <p>初めての開催であったが、ひとまず成功といえる集客だった。次回の開催に向けては、雨対策が今後の課題として残った。</p>	
市評価	<p>若い世代が中心となって実施するイベントは、地域の活性化に大きく貢献するものです。単発で終わるのでなく継続して実施することで更に効果が上がるでしょう。</p> <p>今回の反省を生かし、地域で認知されるイベントに育つように、課題について対策を進めて欲しい。</p>	
備考		

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	緊急呼子で近所の絆を呼び込む事業	【 5】
申請団体	若沼自治会	
事業目的等	<p>目的</p> <p>災害による家屋の倒壊で圧死や窒息死のおそれがある場合に備えて、緊急呼子笛をその発見と救助に活用する。周波数サイクルが高いため風や雑音の多い環境にあっても発見を早め、更に体力の消耗も防ぐことができる。</p> <p>内容</p> <p>当該グッズの重要性について、全自治会員に「回覧」により周知する。 緊急呼子笛を理事が全世帯へ個別に配付する。 配付時に、「常時携帯が理想であるが、それが出来ない場合、ベッドの脇、居間、玄関入口等、すぐ手にできる所持方法」を工夫するよう伝える。 「被災時には絶対役立つ」ことを説明する。 緊急呼子笛を吹くことで、近所の人々、自治会役員、新たに編成した「ご近所防災支援隊」が救助に向かうことを説明する。 「支援隊」が発行する「支援隊だより」により、今回配付する「緊急呼子笛」について継続的に浸透させていく。</p>	
交付決定日	平成 28 年 10 月 7 日	
交付決定金額	¥280,000 円 (全体事業費 ¥280,800 円)	
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急呼子笛 2,600 個を購入した。</li> <li>配布に先立ち別紙回覧にて、配布の趣旨、使用方法、携帯方法、費用等について周知徹底した。</li> <li>役員、民生委員により自治会未加入者にも配布した。</li> <li>1 世帯 2 個配布したことで、高齢者夫婦にも安心して使用していただくことができた。</li> <li>自治会未加入世帯にも配布した結果、これまでに 12 世帯が新たに加入した。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会未加入者に加入を促す良い機会となった。</li> <li>大震災に対する緊張感と心構えを啓発する良い機会となった。</li> </ul>	
市評価	<p>自治会独自の防災活動として、事前の周知や配布方法などもよく検討されており、震災に対する備えを啓発する良い機会となった。</p> <p>また、自治会加入率が低下する中で、新たな世帯の加入につながったことも高く評価できる。</p>	
備考		

平成 28 年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区自治会連合会 自治会加入パンフレット作成事業 【 6】
申請団体	大野中地区自治会連合会
事業目的等	<p>目的</p> <p>大野中地区独自のパンフレットを作成して自治会未加入世帯へ配付することで、自治会活動をよりわかりやすく周知し、自治会活動の有用性を明確にし、自治会加入促進につなげる。</p> <p>大野中地区の紹介及び単位自治会の特色を前面に出すことで自治会を身近に感じてもらうことができ、加入促進に有効であると考え。</p> <p>また、平成 27 年度に立ち上げた大野中地区自治会連合会のホームページとの相乗効果による周知範囲の拡大も狙う。さらに、32 の自治会長から意見を募り作り上げていくことで、大野中地区としての一体感を高め、大野中地区自治会連合会を盛り上げ、自治会加入につなげていきたいとも考えている。</p> <p>内容</p> <p>大野中地区及び単位自治会の自治会活動を紹介したパンフレットを作成する。幅広い世代にわかりやすいように、活動写真を多く掲載し、視覚に訴え直観的にメリットを感じられるようにする。未加入世帯及び不動産会社への配付、今後数年間の使用を前提とした部数を用意するため、約 17,000 部作成する。</p>
交付決定日	平成 29 年 2 月 3 日
交付決定金額	¥535,000 円 (全体事業費 ¥535,747 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会未加入世帯へ配付するパンフレットを約 17,000 部作成した。大野中地区及び単位自治会それぞれの特色を前面に出したものとなった。今後約 5 年間、未加入世帯・転入世帯への勧誘に使用する。</li> <li>パンフレット作成の過程においては、32 の自治会長からの意見も取り入れていくことで、自治会連合会としての一体感を高めた。</li> <li>幅広い世代にわかりやすいように、活動写真を多く掲載し、視覚に訴える自治会活動の有用性を直感的に認識できるパンフレットとなった。</li> <li>また、大野中地区のみならず、単位自治会の特色も掲載することで、自治会の活動をより身近に感じてもらうことができる。</li> </ul> <p>自己評価</p> <p>目的としていた、自治会活動をよりわかりやすく、直感的にメリットを感じられるパンフレットは作成できた。今後は、未加入世帯・転入世帯及び不動産会社への配付を行い、自治会加入を促していく。</p>
市評価	<p>各自治会の要望が生かされた、実際に加入をお願いする場で役立つパンフレットが出来上がった。</p> <p>今後は、パンフレットの配付方法や場所などをよく検討し、効果的に活用しながら自治会への加入促進に繋げて欲しい。</p>
備考	